



# 白神通信

2016. 3月発行 No.78

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター  
〒018-3201  
秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3  
Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005  
eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

## 平成27年度 第2回巡視員会議を開催

1月23日（土）に平成27年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）が、藤里町総合開発センターで開催されました。

会議には、秋田県側巡視員や関係市町の担当者等、34名が出席し、(1)関係機関の事業実績、(2)巡視員による巡視活動の状況、(3)合同パトロールの実施結果、(4)核心地域への入山状況、(5)樹木損傷等の状況、(6)ニツ森登山道刈払い、(7)ニホンジカの確認情報、(8)その他という8つの議題について話し合いました。

巡視員の方々からは、「東北森林管理局で実施している調査に地域の学生や学識者を参加させてはどうか。」、「素人でも白神山地を理解できるような工夫が必要だ。」等の意見が数多く寄せられました。

最後に、東北森林管理局計画課長より、「白神山地の中で、議論や工夫を必要とするものが色々と増えている。様々な方の意見を聞き情報共有をしながら、色々な取り組みを息長く続けていきたい。」との挨拶があり会議は閉会しました。



## 森林・林業技術交流発表会

2月4日（木）と5日（金）に秋田市にぎわい交流館AUにて森林・技術交流発表会が開催されました。当センターも発表者として参加し、「白神山地における森林環境教育プログラム改良へ向けた取組 ～地域に根ざした新たなフィールドの開拓～」というタイトルで当センターの活動について発表を行いました。

発表では、森林鉄道や沢歩きなど、原生的なブナ林以外の白神山地の多様な魅力や価値について提案しました。



# 平成27年度 第2回合同パトロール

7月に予定していた第1回合同パトロールが中止となったため、今年度初めての合同パトロールを9月26日（土）に開催しました。巡視は2コースに分かれて行いました。

## ○中ノ又～追良瀬川コース

秋田県側から青森県の県境を越えて白神山地遺産地域のパトロールを行いました。遺産地域内で違法な行為が行われた形跡は見つかりませんでした。



## ○ニツ森コース

ニツ森では登山者等への入山マナーの普及啓発や歩道の点検、標識類の状況確認、ゴミ等の回収等を行いつつ巡視を行いました。



## 白神森林講座

9/12（土）

第3回「いくぜ冒険野郎！ 峨瀧渓谷」



午前中は白神山地についての講義と林道の探索をしました。林道からは森林鉄道の遺構を見ることができ、林業の歴史について触れることができました。午後は高山登山をしました。

10/3（土）

第4回「黄葉こそ白神だ！ ニツ森&留山」



当日は大型低気圧の影響でニツ森登山は中止となり、三十釜と留山の散策へと変更となりました。三十釜ではサケの遡上を目にすることができました。

3/5（土）

第5回「銀幕の湖！ 素波里ダム周辺」



当日は、雲一つ無い晴天で、素波里湖周辺の自然散策や午後からかんじき体験を行いました。普段、体験できない冬の白神山地の魅力を楽しみました。

## 藤里町民祭

10月24日（土）、25日（日）に藤里町民体育館にて藤里町民祭2015『白神のふるさとまつり』が開催されました。当センターのブースでは『写真パネルの展示』と『木工体験コーナー』を実施しました。

地域の方々からは好評を頂き、当センター職員も嬉しく思いました。



## 早口小学校

平成27年9月24日（木）、大館市立早口小学校の5年生25名と引率の教師2名が当センターを訪れ、総合的な学習の時間「世界遺産『白神山地』から学ぼう！」をテーマに、森林教室を行いました。

午前中は藤里森林生態系保全センター研修棟において、白神山地についての講義が行われました。



児童から「いろんな樹木があるのが良かった」「また来てみたい」などの感想を聞くことができました。

## 編集後記

遅くなりましたが、今年度後半の取組をまとめて紹介しました。

平成27年度も残り少なくなり、一步一步春の気配が感じられるようになりました。道端には、ふきのとうが顔を出しています。

今年度を振り返ってみますと、大きな災害もなく、無事に業務を行うことができました。残りのも日々も気を引き締めていきたいと思えます。